

宮城の 頼れる弁護士

いとう みつ ひこ
伊東 満彦

(仙台そよかぜ法律事務所)



「解決方法は一つじゃない。
それぞれの依頼者に最も合った解決策を
ご提案するのが私たちの仕事です。」

―弁護士を目指したきっかけを教えてください。

法学部で学ぶうちに、困った人を純粹に助けたいと思うようになりました。最初は裁判官として任官しましたが、民事事件に関わるうち、より事件の当事者に近い弁護士という仕事に魅力を感じました。

―多く手がけている分野は？

仙台市弁護士会では民暴対策委員会に所属しています。相手が暴力団かどうかわからない場合でも対処法などご相談にのります。弁護士がつくことで相手の暴力的な態度が変わることもありますよね。相手が弁護士を立ててきたら、そこからは筋を通して本来的な解決に向かうことができます。他には交通事故、相続、離婚などが多いです。男性の弁護士のの中では離婚を多く扱っている方だと思います。

―どんな時にやりがいを感じますか？

知っているか知らないかで解決方法が変わってしまうことってあるんです。最近で言えば、経営者保証に関するガイドラインという制

度です（注：H25・12中小企業庁公表）。これを使うことによって事業が行き詰まった場合にも経営者を破産させずに済むケースがあります。失敗してもリスタートができ、自殺などの事態も避けられる。新しい制度なので先例がありませんが大変ですが、それで救える方がいることにやりがいを感じます。

―プライベートでのご趣味などを聞かせてください。

ゴルフと庭いじりが趣味です。愛犬のお散歩にも行きます。着替えていると、「散歩じゃないの？連れてって？」というそぶりを見せて可愛いですね。

―最後に、りらく読者へのメッセージをお願いします。

気になることにはどうぞ早めの相談を。「まだ早いですよ。こういうことがあったらまた来てくださーい」というお返事だとしてもまずは安心できると思います。気軽に相談できる弁護士さんを作ってください。心当たりがなければ、ぜひわたしのところを思い出していただけならと思います。